

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
①	<p>滞在型観光個人旅行促進業務 (継続:佐渡市受託)</p>	<p>【目的】 国の「特定有人国境離島地域社会維持推進交付金」を活用して、佐渡ならではの旅行者ニーズに合わせた魅力ある着地型の旅行商品造成を積極的に推進し、地域内での消費誘発及び地元との交流等による満足度の向上、経済波及効果とリピート率の向上を図るため、一次産業や地域との連携等による佐渡の本物の魅力を旅行者に伝え、地域で稼ぐことができる滞在交流型観光を目指す。さらに全体的に観光客が減少する中で、需要の高いコンテンツや佐渡ならではのものに注目し、本物の歴史文化、食及び体験等を組み合わせることで滞在交流を促進する。 増加するインバウンド旅行者ニーズに合わせた佐渡ならではの魅力ある着地型旅行商品を造成し、市内に滞在する外国人旅行者を増やすことで宿泊利用と滞在時間の延長を図り、島内消費の拡大に繋げる。</p>
	<p>担当:中林</p>	<p>【内容】 個人フリー型企画乗船券「体験パック」、団体型旅行商品への乗船券割引支援、体験クーポン付き企画乗船券の販売を行い、各種メディアで広告宣伝を行った。また体験パック販売サイトのシステム改修、体験写真の更新など販売を増やすための施策を行った。 インバウンド向けには、島内の体験施設で利用可能な「体験クーポン券」を大人500円×4枚/人、小人250円×4枚/人と、佐渡汽船のカーフェリー往復乗船券をセット化した商品を造成。(佐渡島内に1泊以上が条件)佐渡汽船新潟港観光情報案内所で販売した。佐渡観光交流機構のFacebook(英語版)での情報発信や、日本在住、または訪日予定の外国人に向けて、求人、学校、旅行、住居、イベント、エンタメなど様々な生活情報を提供している「ジープラスメディア」で情報発信をした。</p>
	<p>【予算額】 63,255,000円</p> <p>【実績額】 57,311,501円</p>	<p>【検証】 「体験パック」利用者数は1,330人となり、昨年の実績470人から大幅に伸びた。人数では西三川GPでの砂金取り体験(218人)、琴浦洞窟(199人)、シーカヤック(179人)、金山MR(170人)の順で多かった。団体の実績は6,654人(昨年2,670人)で力屋観光汽船利用が5,957人、金山が357人、西三川GPが202人であった。昨年までは2泊以上滞在が条件であったが、今年度から佐渡市固有の文化イベント(薪能など)を組込むことで1泊2日でも適用可能としたため実績が伸びたと考えられる。 インバウンド向けセット商品については、販売期間が2023年2月10日～3月10日と短かったことと、冬季で船の欠航リスクがある状況での販売であり販売実績としては1名(インド)で終了した。(体験施設は史跡佐渡金山)政府による水際対策の緩和と新潟空港国際線の再開などの要因により訪日外国人旅行者数の増加が見込まれる中、インバウンド向けの「二次交通バス」的な解りやすい商品が必要とされているので、次年度以降も通年で継続的な販売をしていきたい。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
②	<p>さどまる倶楽部台帳管理等運営業務 (継続:佐渡市受託)</p>	<p>【目的】 さどまる倶楽部の新規入会や会員特典に係る会員情報を管理し、また、PR及び各種手配などを行い、新規会員獲得や会員の利便性向上を図る。</p>
	<p>担当:ウイロビー</p>	<p>【内容】 「さどまる倶楽部仮会員証発行業務」 ・観光案内所に来所された入会希望者に対して、さどまる倶楽部アプリの登録案内をした。 ・アプリへの会員登録が完了している方で、アプリの不具合等で会員証が提示できない方へ「臨時会員証」を発行した。 「さどまる倶楽部PR業務」 ・会員募集ウェブページの更新・新規会員の獲得をした。 ・会員特典案内パンフレットの作成・発送・登録を行った。 ・さどまる倶楽部に係るPR業務、アプリ会員への移動業務に関するデータベース登録を含む事務処理・問い合わせ対応をした。 ・さどまる倶楽部協賛店・指定宿泊施設に係る登録申請受付・新規登録施設の情報追加作業を行った。</p> <p>※このほかに付随業務として、さどまる倶楽部会員で指定宿泊施設への宿泊をされる方への佐渡汽船予約受付及び来島回数による佐渡汽船特典乗船チケットの手配に関する業務を行った。</p>
	<p>【予算額】 911,000円</p> <p>【実績額】 457,142円</p>	<p>【検証】 「さどまる倶楽部仮会員証発行業務」 ・発行実績 40件 「さどまる倶楽部PR業務」 ・協賛店・指定宿泊施設登録受付業務 年度途中追加 宿泊施設 8件、協賛施設 4件</p> <p>コロナ禍の中ではあるが、手配件数前年比195%(令和3年2119件、令和4年4123件)、利用者数前年比190%(令和3年4372名、令和4年8286名)、延べ宿泊数186%(令和3年6988泊、令和4年12971泊)と前年を大きく上回る利用があった。佐渡汽船の割引制度の廃止の時期と重なったこともあり、より来島者の利便性の促進につながったといえる。宿泊予約先が指定宿泊施設でないために利用ができないという点について、令和5年度からは指定宿泊施設の要件を「佐渡島内の宿泊施設全施設を対象」へ緩和し、より利便性を高める。これにより更なる会員登録数の獲得と利用の促進を図っていく。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
③	観光情報発信業務 (継続:佐渡市受託)	【目的】 長期的な観光入込数を支えるため、県内でも屈指のユーザー数を誇る「さど観光ナビ」と連携し、新規層を開拓するための広告宣伝と、見込み客の来訪を促す販売促進、来訪者の利便性向上のための観光情報提供を一体的に行い、戦略的な情報発信につなげる。
	担当:栗山	【内容】 ・様々な媒体を利用した新規層への広告宣伝およびコンテンツ作成 ・キャンペーン、着地型観光商品等の販売促進 ・佐渡さんぽ、観光マップ等のパンフレット類の作成
	【予算額】 11,391,000円	【実績額】 9,674,830円

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
④	<p>観光案内所運営業務 (継続:佐渡市受託)</p> <p>担当:中島、宮本、栗山</p> <p>【予算額】 21,076,000円</p> <p>【実績額】 20,697,134円</p>	<p>【目的】 ①観光案内所運営業務:佐渡市を訪れた観光客等に対し、的確な現地情報の提供による案内を行う ②ふれあいガイド常駐実証事業:まち歩きガイドを常駐させることにより、両津港での船待ち時間・宿チェックイン前の時間を有効活用し、案内の幅を広げる。また、加茂湖を活用する新ガイドプランの造成やガイド力の向上も目指す。 ③エコツアーガイド養成事業:今後需要が増えると思われるネイチャーガイドの資質向上のため、エコツアーガイドに対して新人ガイドの養成と既存ガイドのスキルアップ講座を行う。</p> <p>【内容】 ①佐渡観光の拠点となる両津港、相川、南佐渡の3か所において案内業務を行い、窓口・電話・メール等で観光客が求める観光情報の提供、さどまる倶楽部・エンジョイプラン・宿泊等の予約手配、バスフリーパス・イベントチケット等の物品販売などに努めた。 ②両津港佐渡観光情報案内所に一定期間両津ふれあいガイドを常駐させ、常にまち歩きガイドへ出発できるよう体制整備した。また、加茂湖活用のため、遊覧船などを使い新しいガイドプランを構築した。ガイド先進地での研修や各ガイドについて付加価値をつけるため用品の準備や案内掲示の整備などを行った。 ③新人ガイド養成については、昨年度座学での講習を終えたため、今年度は夏、秋の2シーズンで実地研修を行い、9名のガイドを養成した。スキルアップ研修は、既存ガイド6名を対象に雨飾山での2泊3日の研修を開催した。お客様の安全管理のため、新人ガイド、既存ガイドを対象に日本赤十字社新潟県支部に依頼し、3日間の救急法講習を開催し、16名のガイドが参加した。</p> <p>【検証】 ①コロナ禍が明けお客様も戻り、窓口立ち寄りに加え、電話、メールと対応件数も大幅に増えた。また、さどまる倶楽部とエンジョイプランの予約・対応も増え、本来の窓口機能の役割を存分に果たせた。今後は年明けより増えだしたインバウンド対応にも配慮した業務の進め方を考えたい。 ②ガイドを受けたお客様より好評を得ることができ、両津港での新たなコンテンツの提供が可能なることを証明できた。加茂湖遊覧ガイドについては、長年利活用が課題であった加茂湖での新たなコンテンツ作りを目指したが、船の運航等についての制約等課題が残った。ガイドの活用については、本年取り組んだトレッキングプランについては今後も大きく伸ばさせる要素であり、さらにトキガイドや海のガイドなどへも展開してみたい。 ③新人ガイドについては、夏と秋の2シーズンで研修を行うことで植生の違いやシーズンごとの気候の違いを学ぶことができた。今後はエコツアーガイド協会に所属し、OJTを通して経験を積み、ガイドとしての実働を行っていく予定。スキルアップ研修では、新潟大学演習林とは別の自然環境でのトレッキングを体験することで、佐渡と本土の山の植生等の違いを学び、より深みのあるガイドングを行うための知識を得ることができた。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
⑥	<p>観光ニーズ調査分析業務 (継続:佐渡市受託)</p> <p>担当:栗山</p> <p>【予算額】 7,322,000円</p> <p>【実績額】 2,667,115円</p>	<p>【目的】 佐渡市の観光の現状および経年における観光動態の推移を把握し、有効な観光施策を検討するため、島外旅行者を対象とした来島目的や年代、性別等の属性、滞在日数等の基礎的な内容のアンケートを実施し、データ分析の上で報告資料を作成するため。</p> <p>【内容】 ・来訪者の満足度及び属性についてのアンケート調査を実施 ・佐渡汽船の航送実績データの月ごとの分析</p> <p>【検証】 令和4年の入込者数は36.8万人と推計され、令和3年と比較して9.6万人増加した。新型コロナウイルス感染症数は過去最多となったが、にいがた県民割や全国旅行支援といった観光需要喚起施策により復調の兆しが見えた。来訪者の満足度は、「大変満足」の割合が昨年大きく伸びたこともあり、今年は前年に比べ3.5pt減少した。リピーター率も前年比1.5pt減少したが、旅行消費額は46,322円と前年から6,837円増加した。</p>
⑦	<p>教育旅行誘致業務 (継続:佐渡市受託)</p> <p>担当:宮本</p> <p>【予算額】 364,000円</p> <p>【実績額】 149,239円</p>	<p>【目的】 島外小学校等が佐渡市内で実施する教育旅行の現地下見に係る島内レンタカー使用料の補助支援を通じて教育旅行誘致の促進を図るとともに、島内小学校等が市内の農山漁村で実施する宿泊体験に係る体験料の補助支援を通じて受入体制の維持促進を図る。</p> <p>【内容】 佐渡で教育旅行の実施を検討している学校団体に事前調査等で来島した際に、島内レンタカー利用への補助を行った。そのほか島内小学校等が体験学習を実施する際の体験料補助を行った。下見補助9件(前年14件)、体験補助5件(前年3件) ※ 参考:R4年修学旅行実績 245校(R3年:270校) 12,438人(R3年:13,373人)</p> <p>【検証】 下見補助9件のうち長野県が4件、新潟県が5件となっている。コロナ渦明け旅行先の縛りがなくなる中、佐渡へ多く旅行いただいている長野県へのプロモーションが効果的であると考えられる。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
⑧	合宿・コンベンション誘致業務 (継続:佐渡市受託)	【目的】 佐渡市における交流人口の拡大に寄与する合宿(宿泊施設に宿泊して当該活動に係る練習又は研修等を行うことをいう。)を市外から誘致し、宿泊施設の利用を通じた地域経済の活性化を図るため、市外の学生団体による合宿に要する宿泊経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付。
	担当:宮本	【内容】 島外の高校・大学等各種学校文化部またはスポーツ競技部の団体に対し、2泊以上の宿泊かつ延べ宿泊数が20人泊以上で島内宿泊施設への宿泊に対し1泊当たり1,000円(公共施設は500円)を補助した。413人泊(旅館・ホテル・民宿等 413人泊、公共施設 0人泊)スポーツ合宿 5校 文化等合宿 2校
	【予算額】 2,176,000円	【実績額】 501,657円

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
⑨	<p>地域の観光資源を活用したプロモーション業務 (新規:佐渡市受託)</p> <p>担当:中林</p>	<p>【目的】 対岸市等と連携したプロモーションを展開することで、「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を契機とした、国内外の観光客が佐渡を来訪する機会創出を図るほか、コロナ前において国外から最も佐渡への来訪者が多かった台湾をターゲットとし、相互交流等の実施により関係性の継続を図る。</p> <p>【内容】 (1) 対岸市等と連携したプロモーション活動の実施新潟市・佐渡市エリア観光PRイベントの企画手配・運営 ①新潟県・新潟市連携 9/22(木)～25(日):「ツーリズムEXPOジャパン2022」に「新潟県」観光ブースに新潟市と出展。商談会と観光PRを実施。 ②新潟市連携 10/29(土)～30(日):「五感体験型新潟産直市@上野駅」に新潟市とブース出展し観光PRを実施。 ③新潟市連携 11/3(木祝)実施:「新潟ひとつなぎ2022」新潟市本町にて観光PRブースを出展し観光PRと物産販売を実施。 ④新潟市・燕市・糸魚川市連携 11/5(土)～6(日):「クールジャパンEXPO in Niigata」に出展し観光PRを実施。 ⑤上越新幹線沿線連携(みなかみ町、新潟市) 1)9/9(金) 新潟観光コンベンション協会・みなかみ町観光協会・佐渡観光交流機構からなるVJチームで東京都内にある訪日ランドオペレーターに向け、コロナ明けに向けた商品造成につなげてもらうため、広域でのパッケージ商品の提案を中心にセールスを実施。 2)9/22(木)～24(土) 「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2022」、東京ビッグサイトで開催されたJNTO主催の商談会に参加。 3)11/1(火)～3/31(金) 上越新幹線沿線VJ事業にて英語での観光情報発信を行った。 ターゲット国:米国、豪州、欧州及び東南アジアの英語圏 セグメント:日本の文化、自然風土、グルメ、アクティビティに興味を持つ主に40～50代の旅行者層。 内容:SNS(Facebook, Twitter)で情報発信。 (2)台湾、佐渡双方でのイベント実施におけるプロモーションや相互交流における誘客活動の実施 ①11/8(月)～12(金) 2023年1月就航予定のタイガーエアーを取り扱う旅行会社へセールスを実施。佐渡商品造成(2泊3日)を依頼した。 ②12/15(水)～21(火) 新潟県国際観光推進課の事業で、新潟県、新潟市と連携による台湾「日本東北遊楽日」イベントへの出展と旅行会社訪問実施。 ③台湾旅行商業同業組合会員名簿冊子への佐渡観光広告掲載 2022年度の会員(役員)名簿、会則冊子に佐渡観光のPR広告を掲載した。 ④9月～10月の2か月間、台湾のJP PLAZAの会場を貸切り新潟と佐渡の観光PRを行った。(会場の借上げ費用を新潟市と折半) (2)冬季の新商品造成に向けてクアラルンプールの旅行会社を招聘した。 3/13(月)～14(火)の日程でマレーシアの旅行会社(Salam Vacation)を招聘。島内のハラル対応の食事内容を中心に視察し、11月～3月で湯沢まで来ているFIT富裕層顧客のリピーターを佐渡まで足を延ばさせるコースを検討してもらった。閑散期の高単価の新規商品造成が期待できる。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
	【予算額】 3,856,000円 【実績額】 3,025,400円	【検証】 事業における対岸自治体との連携は必要不可欠であり、単独での事業に比べて同じ費用でも大きな規模の事業が実施可能となる。引き続き、対岸都市と連携を取りながら佐渡への誘客を進めていきたい。 また、台湾はコロナ明けの訪日旅行需要が高いので、新潟空港への直行便の就航を契機として今後も定期的に新潟と佐渡での連携したイベントを持続的・効果的に実施し、台湾からの誘客に繋げたいと考える。
⑩	佐渡観光ナビ運営業務 (継続:佐渡市受託) 担当:栗山	【目的】 佐渡市公式観光情報サイト「さど観光ナビ」を運用し、「旅マエ」「旅ナカ」の旅行者のニーズに沿った情報発信を行い、佐渡の魅力度および旅行者の満足度の向上を図る。
		【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市公式観光情報サイト「さど観光ナビ」の運用、保守管理 ・佐渡市公式観光情報サイト「さど観光ナビ」の全体リニューアル
	【予算額】 7,947,000円 【実績額】 7,613,320円	【検証】 8月に「さど観光ナビ」のデザインリニューアルとセキュリティ強化を行った。佐渡のコンテンツを紹介する「佐渡での楽しみ方」「さどじまん」を新設し、「旅マエ」「旅ナカ」の旅行者に向けて多様な情報を発信することができた。新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、旅行需要が回復したこともあり、日本語サイトのPV数は前年比124%、ユーザー数は129%と大きく伸びた。次年度以降はインバウンド対応として外国語ページのリニューアルに着手したい。

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
⑫	<p style="text-align: center;">だっちゃんコインシステム運営業務 (継続:佐渡市受託)</p> <p style="text-align: center;">担当:ウイロビー</p> <p style="text-align: center;">【予算額】 11,766,000円</p> <p style="text-align: center;">【実績額】 8,037,119円</p>	<p>【目的】 さどまる倶楽部アプリ及び観光地域通貨システムの運用、管理を行い、デジタル化及びキャッシュレス化の促進と利便性の向上を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>(1)さどまる倶楽部アプリの管理運用等 令和4年1月に改修された当該アプリについて、引き続き動作エラー等、利用者からの問い合わせ等に合わせてアプリ業者と協議の上、利便性を考慮しながら改修。汽船ダイヤの変更が生じた際には、ダイヤ変更の作業も行った。 また、だっちゃんアプリでの支払い・チャージ・佐渡汽船予約の管理を行った。</p> <p>(2)さどまる倶楽部アプリの改修 当初「さどまる倶楽部アプリを介して佐渡汽船の乗船予約を行った際、アプリを用いての発券手続きが行えるよう改修を行うこと」となっていたが、令和5年3月16日に市に報告し、令和5年3月22日付けの指示を受け、仕様書第5(2)に定める改修は完了しなかったが、その途中段階で作成をすることとなったデータベースは完成した。</p> <p>(3)観光地域通貨システムの管理運用、LPの保守管理等 アプリ登録者がアプリを通して協賛施設にて使用した金額について、毎月精算管理を行った。 また、さどまる倶楽部協賛内容の変更に伴うLP情報の更新を行った。</p> <p>【検証】</p> <p>(1)さどまる倶楽部アプリの管理運用等 チャージ 184件 総額:1,293,572円 支払い 395件 総額:1,158,817円 佐渡汽船予約件数 4,070件</p> <p>さどまる倶楽部アプリの改定後の動作不良が未だ続く中、利用者のエラー対応を行ってきた。アプリ修正が不可能な案件も発生したが、おおむね解消することができた。 佐渡汽船の予約システムとの連動が当初予定通りに進まなかったが、新たなデータベースとその管理画面が完了した。今後のシステム管理がよりスムーズに、利用者の動作もより少ないエラーで行えることとなった。今後は現行システムからの移行の作業時の利用者への対応やエラー対応の発生が予測されるため、準備しながら進めていく。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
⑬	<p>フィルムコミッション事業</p> <p>担当:ナタリー</p> <p>【予算額】 24,000円</p> <p>【実績額】 0円</p>	<p>【目的】 フィルム・コミッション(通称:FC)とは、映画やドラマ、CM、YouTube等の映像作品の現地撮影がスムーズに実施されるよう、撮影者の協力・支援を行う団体とのことです。佐渡市観光振興課では、地域活性化や観光振興等に繋げることを目的にフィルム・コミッション事業を行っています。</p> <p>【内容】 佐渡市観光振興課では、大規模の撮影(映画、ドラマ、ドキュメンタリーなど)の協力・支援をして、佐渡観光交流機構では、小規模(MV、番組、雑誌、写真集など)の協力・支援をします。 協力・支援内容は、撮影者への誘致と宣伝活動、撮影者への撮影にかかる支援(本番前の事前調査も)、完成作品のPRと撮影地の宣伝誘客、地域内でのPR活動、ネットワークづくり、地域の文化、歴史、風俗の継承のための情報蓄積、県内FCや他県FCとの連携</p> <p>【検証】 2022年4月～2023年4月の間対応した撮影は12件で、番組6件、MV2件、YouTube2件、写真集1件、雑誌1件です。</p>
⑮	<p>トキ野生復帰推進事業 体験ツアー実施業務 (新規:新潟県受託)</p> <p>担当:中林</p>	<p>【目的】 トキの野生復帰に向けた社会環境整備のため、トキ野生復帰活動への支援者・参加者の拡大を図ることを目的として県内外の参加者を対象としたトキに関する体験ツアーを実施し、活動への理解を深めるとともに、新潟県の環境イメージ向上と企業のCSR活動、学校や各種団体等の環境保全活動の創出・発展等に寄与することを目指す。</p> <p>【内容】 ①トキ交流会館で1泊2日体験プログラムを組んだ1泊2日の商品を開発し、夏休みの親子向けの商品として8月4本、9月1本の出発日を設定し6月16日から販売した。(両津港発着の船が付かない商品:弊社「エンジョイプラン」と船付の商品:弊社「体験パック」の2種類を販売)島内の移動に小型貸し切りバスを想定していたことから、ツアーの最少催行人員を10名で設定し募集したが、最終的には5本設定のうち4本は2名の申し込み、1本は4名の申し込みがあったが催行できる人数に達しなかったためツアーキャンセルとなった。 設定日:8月6日(土)～7日(日)、8月15日(月)～16日(火) 8月27日(土)～28日(日)、8月28日(月)～29日(火) 9月10日(土)～11日(日) ②夏休み期間の1泊2日の商品が催行されなかったため、日帰りのプログラムに内容を変更し、最小催行人数も2名にして9月～11月の土日を中心に9本、体験のみの「エンジョイプラン」と船付の「体験パック」を8月26日から販売したが集客実績はなかった。 設定日:9月10日(土)、9月17日(土)、9月25日(日) 10月1日(土)、10月8日(土)、10月16日(日) 10月22日(土)、10月30日(日)、11月5日(土)</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容												
	<p>【予算額】 999,658円</p> <p>【実績額】 72,600円</p>	<p>【検証】 「夏休み期間中の親子向け」というコンセプトで当初は1泊2日の商品を販売したが集客が出来なかったため、9月以降は日帰り商品として販売する形をとった。 弊社の体験プランの販売サイトには50種類近くの体験商品が掲載されているため多くの商品の中に埋もれてしまった可能性はある。今回のトキ野生復帰体験プログラムの商品の情報発信は十分にできていなかった。 今後は日帰り商品を中心にして、ある程度の広告・情報発信などの費用(SNSの活用など)を確保したうえで販売できる体制にしていきたい。</p>												
⑩	<p>佐渡金銀山ガイドンス施設 賑わい創出及び交流促進業務 (継続:佐渡市受託)</p> <p>担当:山本</p> <p>【予算額】 4,532,000円</p> <p>【実績額】 4,532,000円</p>	<p>【目的】 佐渡金銀山の玄関口として現地情報を含む総合案内を行うとともに、佐渡金銀山の価値や魅力を映像やグラフィックパネル等で紹介する。また、国内外の来訪者に対し、レンタサイクルの貸し出しを行うことで利便性の向上を図る。またきらりうむ佐渡への来館及びPRを目的に島内外のお客様対象のイベントを定期的に開催します。</p> <p>【内容】 窓口での観光案内や施設内の紹介、券売機金銭管理の他、地元業者の出店など定期的にイベントを12回開催し、きらりうむ佐渡の認知度及び集客増に努めました。その他県内外イベントや商談会、教育旅行関連会議に参加しパンフレット等による周知を行いました。</p> <p>○イベント概要</p> <table border="0"> <tr> <td>・きらりうむ佐渡開館3周年記念 GW感謝祭 75人</td> <td>・第2回ミライチSDGsフリーマーケット 532人</td> </tr> <tr> <td>・きらりうむ七夕イベント 111人</td> <td>・第3回ミライチSDGsフリーマーケット 330人</td> </tr> <tr> <td>・夏休みイベントウォーク 104名</td> <td>・第4回ミライチSDGsフリーマーケット 200人</td> </tr> <tr> <td>・ハロウィーンランタンイベント 104人</td> <td>・第5回ミライチSDGsフリーマーケット 243人</td> </tr> <tr> <td>・冬企画ヒンメリWSイベント 24人</td> <td>・第6回ミライチSDGsフリーマーケット 257人</td> </tr> <tr> <td>・お正月企画水引WSイベント 39人</td> <td>・第7回ミライチSDGsフリーマーケット 215人</td> </tr> </table> <p>【検証】 きらりうむ佐渡入館者に行ったアンケート結果に「きらりうむ佐渡についてよく知らない」「きらりうむ佐渡に何となく入りづらい」という回答が多かったのですが、気軽に参加できるイベントを継続的に行うことにより、施設について知って頂く機会を増やすことができ、また入りやすい雰囲気を作ることができました。またイベントを通して集客を行い、展示室や相川町中、金山への誘客ができました。さらにレンタサイクルを貸し出すことで利便性を向上させることができ、効率よく相川観光をして頂く事ができました。</p>	・きらりうむ佐渡開館3周年記念 GW感謝祭 75人	・第2回ミライチSDGsフリーマーケット 532人	・きらりうむ七夕イベント 111人	・第3回ミライチSDGsフリーマーケット 330人	・夏休みイベントウォーク 104名	・第4回ミライチSDGsフリーマーケット 200人	・ハロウィーンランタンイベント 104人	・第5回ミライチSDGsフリーマーケット 243人	・冬企画ヒンメリWSイベント 24人	・第6回ミライチSDGsフリーマーケット 257人	・お正月企画水引WSイベント 39人	・第7回ミライチSDGsフリーマーケット 215人
・きらりうむ佐渡開館3周年記念 GW感謝祭 75人	・第2回ミライチSDGsフリーマーケット 532人													
・きらりうむ七夕イベント 111人	・第3回ミライチSDGsフリーマーケット 330人													
・夏休みイベントウォーク 104名	・第4回ミライチSDGsフリーマーケット 200人													
・ハロウィーンランタンイベント 104人	・第5回ミライチSDGsフリーマーケット 243人													
・冬企画ヒンメリWSイベント 24人	・第6回ミライチSDGsフリーマーケット 257人													
・お正月企画水引WSイベント 39人	・第7回ミライチSDGsフリーマーケット 215人													

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
⑰	佐渡金銀山ガイドンス施設展示室 観覧料徴収事務業務 (継続:佐渡市受託)	【目的】 佐渡金銀山ガイドンス施設 展示室の観覧料を確実に徴収、管理を行います
	担当:山本	【内容】 団体料金の収受、ツアー等団体への領収書の発行、業務日誌の作成、観覧料の集計及び佐渡市への報告、券売機の釣銭の補充、金庫の現金管理、券売機の管理、不具合等の対応、受託現金出納簿の記載、証拠書類の整理
	【予算額】 340,164円	【実績額】 340,164円
		【検証】 観覧料を日々徴収、確認、管理、記録しております。券売機の不具合(印字数値と現金に齟齬がある)に関しては今後改善が必要
⑱	関西圏イベント業務委託料業務 (新規:佐渡市受託)	【目的】 「佐渡島の金山」の世界遺産の登録に向けた活動を起点に、関西圏においての認知度を高め観光の誘客を図るため、大阪国際空港「ITAMI空の市」において佐渡島編を開催し空港来館者や新潟便利用者などに佐渡のPRを実施する。
	担当:中川	【内容】 「ITAMI 空の市～佐渡島編～」 ・日時:令和4年5月13日(金)～令和4年5月16日(月) ・場所:大阪国際(伊丹)空港 ・内容:金塊掴み体験、パンフレットの配布等による佐渡のPR業務
	【予算額】 1,250,000円	【実績額】 1,214,192円
		【検証】 佐渡の知名度は高いものの、関西圏から佐渡島へアクセスについての問い合わせが複数件あった。観光パンフレットを自主的に手に取られるお客さまもいらっしゃり、なかには「いつか佐渡に行きたいと思っていた。」とおっしゃる方もいた。 新潟空港から新潟港へのアクセスやフェリーやジェットfoilなどのダイヤ、モデルコースをご提案する販促物を準備するなどして送客に繋げる施策を組み込みたい。 金塊つかみはお客さまにも楽しんでいただき、通りがかりのお客さまの集客にも大いに繋がった。 佐渡島への送客を目的に、企画を継続的に取り組んでいきたい。

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
①9	<p>佐渡固有の文化活用事業 企画運營業務 (継続:アースセレブレーション 実行委員会から受託)</p> <p>担当:宮本</p> <p>【予算額】 11,226,700円</p> <p>【実績額】 11,172,498円</p>	<p>【目的】 佐渡の文化芸術の力を活用した国際発信力のある拠点形成のため、アース・セレブレーション2022を核に「響く島。SADO」をコンセプトとした関連事業(佐渡体験プログラム、芸術祭プロジェクト、自然を活用したメディア芸術推進事業、佐渡固有の文化活用事業など)を実施し、新たな魅力を創出することにより新規ターゲットの誘客を図ることを目的に事業を行います。</p> <p>【内容】 アース・セレブレーションを核に「響く島。SADO」をコンセプトとした関連事業として、薪能・たらい舟など佐渡の文化に特化した関連イベントを実施しました。観客総数:2,808人(天領佐渡両津薪能1003人、おけさと芸能の宝島佐渡122人、大膳神社薪能150人、佐渡小木たらい舟、さざえ祭り1,207人、二宮神社薪能167人、春日神社薪能159人)</p> <p>【検証】 コロナ対策が進み、安全にイベントを開催できる環境になり、また旅行者の行動も活発化してきている中、佐渡固有の伝統芸能はインバウンドに向けても大切な観光資源であることを実感でき、また日本文化の発信は世界遺産に向けても大変有効であると実証できた。</p>
②0	<p>観光花緑化業務委託料 (新規:佐渡市委託)</p> <p>担当:市橋</p> <p>【予算額】 330,000円</p> <p>【実績額】 170,955円</p>	<p>【目的】 来訪者を花と緑の景観でおもてなしし、満足度向上につなげるため、地域の活動団体と連携した中で花の植栽や地域の緑化推進を実施する。</p> <p>【内容】 島内10か所で、地域の活動団体と連携した花緑化活動を実施した。</p> <p>【検証】 島内各地で行われる花緑化活動を支援することにより、美しい佐渡の景観を観光客に提供できている。市民団体の自主的な活動を支援した結果、継続的な環境美化、観光満足度の向上に寄与している。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
②	<p>テーマ別観光旅行商品造成事業 (継続:佐渡市受託)</p> <p>担当:佐藤</p> <p>【予算額】 3,284,800円</p> <p>【実績額】 2,736,007円</p>	<p>【目的】 国の「特定有人国境離島地域社会維持推進交付金」を活用して、佐渡ならではの旅行者ニーズに合わせた魅力ある着地型の旅行商品造成を積極的に推進し、地域内での消費誘発及び地元との交流等による満足度の向上、経済波及効果とリピート率の向上を図る。また、新たな関係人口「ワーケーション」を誘致し滞在促進を図るため、ワーケーションに選ばれる地としてのニーズで重要なライフワーク(アウトドア・サイクリング)メニューを開発し、滞在交流型観光の構築を目指す。</p> <p>【内容】 ①アウトドア・ツーリズム開発 ○スノーピーク Local Wear Tourism in SADO 1st 5月14日開催@椎崎諏訪神社、岩首昇竜棚田 参加者 18組35名 ○スノーピーク Local Wear Tourism in SADO 2nd 9月24日開催@椎崎諏訪神社、岩首昇竜棚田 参加者 19組29名 ②サイクル・ツーリズム開発 ○「さど観光ナビ」に掲載する体験記事の制作 ・体験プログラム「手ぶらでキャンプ」プランを利用した2日程度の行程の記事を制作 ○webメディアでの情報発信 ・上記の記事と同様の内容を、タイアップ記事としてwebメディアに掲載 ・タイアップ記事のSNSでの発信を行う。</p> <p>【検証】 ①一人当たり旅行商品単価を30,000円代で設定し体験パックとしてエンジョイプランで販売したが、高付加価値な商品であっても定員に達することができ、満足度を上げリピーター獲得に繋げることができると検証できた。 来年度は、冬の高付加価値商品を開発、販売し、オフシーズンの潜在の検証を図ってみることが必要。 ②エンジョイプランで販売している「手ぶらでキャンプ」の記事を作成しwebメディアで情報発信することによって来年度のアウトドアプランの情報発信に繋げることができた。佐渡でのアウトドア需要を発信することで今後の佐渡での滞在型観光の新たなモデルを検証する価値がある。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
②	<p>宿泊特典クーポン発行業務委託業務 (新規:佐渡市受託)</p>	<p>【目的】 島内宿泊施設の利用者に対して、宿泊施設内で宿泊費以外に利用できるクーポン券(2,000円/人)を配布することで宿泊することで宿泊施設内における消費拡大を図る。また、燃料高騰に伴い、佐渡汽船運賃における燃料油価格変動調整金が10月から片道1,210円(大人)となり、来島への割高感を抑制する効果を狙う。 * 参画宿泊施設でチェックイン時に佐渡島外からの宿泊者へ一人一枚クーポンを配布。(配布上限10,000人分)</p>
	<p>担当:ウイロビー</p>	<p>【内容】 キャンペーン名:~佐渡旅行支援~ご来島ありがとうクーポンキャンペーン 実施期間:令和4年10月20日~11月5日 ・参画宿泊施設の募集・受付を行った。 ・さど観光ナビ及びPRTimesでキャンペーンに関する周知を行った。 ・クーポン券の作成及び各施設への配布と利用状況の管理・清算を行った。</p>
	<p>【予算額】 20,873,000円</p> <p>【実績額】 20,445,500円</p>	<p>【検証】 参画宿泊施設53件、利用枚数(回収枚数)9,825枚、精算金額19,650,000円</p> <p>事前に告知ができる期間が限られていたものの利用が多く、多くの方は佐渡島内に入ってからキャンペーンについて知ることとなった。反応はよく、予定期間を大幅に縮小する形でキャンペーンが終了したものの(予定期間令和4年10月20日~令和5年1月31日、最終実施期間令和4年10月21日~令和4年11月5日)宿泊した施設内のみでの利用であったこと及び受け取った宿泊期間内のみでの利用に限られたため、2000円以上の土産や別注料理での対応に難航した施設もあった。施設内でも利用しやすい方法を検討する必要がある。事業の目的である「燃料高騰に伴う、佐渡汽船運賃における燃料油価格変動調整金の値上げによる来島への割高感を抑制する」に関しては島外からお越しいただいた方へ還元できたことにより一定の成果が果たせた。しかしながら、来島前に認知しての利用は少なかったことから、今後は誘客にもつながるよう周知期間に余裕を持った実施を心がけたい。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
⑳	冬季宿泊特典クーポン発行業務委託業務 (新規:佐渡市受託)	<p>【目的】 島内宿泊施設の利用者に対して、宿泊施設内で宿泊費以外での利用や、立ち寄り観光施設で利用できるクーポン券(2,000円/人(500円×4枚))を配布することで島内観光関連施設における消費拡大を図るもの。 また、燃料高騰に伴い、佐渡汽船運賃における燃料油価格変動調整金が1月から引き続き片道1,210円(大人)となり、来島への割高感を抑制する効果を狙うもの。</p>
	担当:ウイロビー	<p>【内容】 キャンペーン名:~佐渡旅行支援~冬季ご来島ありがとうクーポンキャンペーン 実施期間:令和4年12月1日~令和5年2月18日(配布は11日まで) ・参画宿泊施設の募集・受付を行った。 ・さど観光ナビ・PRTimes・新聞紙面広告欄でキャンペーンに関する周知を行った。 ・クーポン券の作成及び各施設への配布と利用状況の管理・中間清算・最終清算を行った。</p>
	<p>【予算額】 19,270,500円</p> <p>【実績額】 17,136,400円</p>	<p>【検証】 参画宿泊施設 50件、参画観光関連施設 9件 総利用枚数 31,733枚、総精算金額 15,866,500円</p> <p>島内の登録宿泊施設の他、土産販売店や観光施設での利用を可能にし、クーポンの額面(2,000円)を4分割(500円×4枚)に構成したことで、少額での利用が可能となり、利用者の利便性が高まり、幅広い消費拡大を促すことができた。事業の目的である燃料油価格変動調整金の高騰による来島への割高感の抑制に寄与することができたものと考えられる。 事業当初の段階で、参画宿泊施設の予約が11,268件あったが、新型コロナウイルス感染拡大の沈静化や全国旅行支援の効果による旅行需要の増加を踏まえ、目標の15,000件を目指し事業を行っていたが、12月下旬の大雪による被害や、1月の強烈寒波の影響などにより宿泊予約のキャンセルが増え、最終的には目標を下回る配布件数だった。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
②④	<p>3エリアe-bikeルート作成業務 (新規:佐渡市受託)</p> <p>担当:武田</p> <p>【予算額】 2,006,510円</p> <p>【実績額】 1,820,973円</p>	<p>【目的】 島内3カ所の観光案内所でレンタルしているe-bikeの魅力向上のため、地域ならではの観光スポットや景観をめぐるサイクリングルートを作成。</p> <p>【内容】 ① 島内観光案内所3カ所を拠点としたe-bikeルートの作成 ・島内サイクリングガイド3名が、両津、相川、南佐渡の3エリアを各々、担当し、各エリアの特性を生かしたコースを設定。立ち寄りスポットも組み込んだ、魅力的なルートを作成。 ② サイクリングルートの評価、修正 ・島外のサイクリング・コンサルティング会社「ルーツ・スポーツ・ジャパン」ほかプロガイド、メディア、サイクリングツーリストといった有識者に①の3エリアのサイクリング環境を、検証・評価してもらいました。また島内サイクリングガイドとの意見交換会も実施。 ③ サイクリングルートの掲載 ・3エリアのサイクリングルート4コース(両津＝加茂湖一周コース、相川＝相川金山コース、南佐渡＝小木海岸コースと羽茂大崎コース)を作成、Web上に公開。</p> <p>【検証】 サイクリングツーリズムが、順調な回復を見せているなか、佐渡島内においてもこれまで以上に自転車を活用したコンテンツを企画して誘客を図るために、魅力的なサイクリングルートの設計が必須となってきた。特に「佐渡島の金山」世界遺産登録を控えている相川地区には、既存のサイクリングコースがなかったため、新しく考案。島内サイクリングガイド並びにコンサルティング会社・有識者という、いわば“自転車のプロ”による島内3エリア・4コースを設定したことで「サイクリングの島・佐渡」をアピールしていくことが可能になった。さらに、自転車の走行環境なども精査したことにより、今後の課題を浮き彫りにすることもできた。このサイクリングルートを活用することで、今後、e-bike(エコだっチャリ)の利用促進にも役立てていけるものと考えます。</p>
②⑤	<p>ジオパークモニターツアー業務 (新規:佐渡市受託)</p> <p>担当:鈴木</p> <p>【予算額】 183,700円</p> <p>【実績額】 183,700円</p>	<p>【目的】 令和5年度開催の佐渡ジオパーク認定 10周年記念事業で予定しているエクスカージョンのモニターツアーとして開催。</p> <p>【内容】 11/13(日)午前・午後で2コースを実施し、参加者アンケートを実施した。 Aコース(午前)「海のジオコース」参加者数:14名 Bコース(午後)「海の時代コース」参加者数:19名</p> <p>【検証】 今回は一般に募集をしたが、実際の記念行事でのツアーは専門職も多く参加することが予想されるため、ツアーの中身の見直しを行ったうえでツアー内容の検討をする必要がある。今後は今回のモニターツアーを定期的 to 実施し、更に幅広い年齢層のツアー参加を獲得し、ジオパーク活動の普及が重要だと考える。 また新たなツアー・教育旅行プログラムの構築により国内外に向けても広く情報発信を行い、ジオパークを活用した地域の持続可能な社会の実現を目指した活動を行ってきたい。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
②⑥	JP PLAZAイベント運営業務 (新規:新潟市受託)	<p>【目的】 台湾における新潟市・佐渡市エリアの知名度を向上させ、観光需要を高めることを目的に、台湾の訪日層向け情報発信施設「JP PLAZA」を活用したイベントを実施する。また、それに併せて実施するバスラッピング及びJP PLAZAに掲出するポスターのデザイン制作を行う。</p>
	担当:中林	<p>【内容】 ①台湾会場 JP PLAZA(台北市南山微風atre内)特設会場でのイベント開催 ・9/10(土) 14:00～15:00(現地時間) 史跡佐渡金山からのライブ配信とクイズ大会 ・9/11(日) 14:00～15:00(現地時間) 力屋観光汽船(たらい舟)からのライブ配信とクイズ大会 ・9/17(土) 14:00～15:00(現地時間) あいぼーと佐渡からのライブ配信とクイズ大会 ②イベントに合わせて、台湾市街で走行するラッピングバスの運行。イベント会場に掲示するポスターイラストの制作。</p>
	<p>【予算額】 1,390,840円</p> <p>【実績額】 1,390,840円</p>	<p>【検証】 JP PLAZA会場での「金塊つかみ体験」は好評で、イベント訴求力の効果は高かった。 時期的に台風が連続で台湾に接近した関係で、週末でも天候が悪い場合は来場者数が伸びない日もあったが、概ねイベントは大盛況であり、席がなく立って参加する人もいるくらいで、画面越しにでも佐渡へ伝わるくらい会場は熱気に溢れているように感じた。やはり、コロナ明けの日本への旅行は非常に関心が高く、台湾の方々の日本への旅行熱は高い様子であり、訪日旅行が再開した時には新潟への旅行の検討をしていただける良い機会になったと確信する。今後も定期的に新潟と佐渡での連携したイベントを持続的・効果的に実施し、台湾からの誘客に繋げたいと考える。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
②⑦	<p>第2のふるさとづくりプロジェクトモデル実証事業 (新規:観光庁補助金)</p> <p style="text-align: center;">担当:ナタリー</p> <p style="text-align: right;"> 【予算額】 12,000,000円 【実績額】 12,000,000円 </p>	<p>【目的】 令和3年度観光庁「既存観光地の再生高付加価値化推進事業」による東日本旅客鉄道株式会社東京支社の東京感動線事業との協働の取組では、異なる価値観にある東京と佐渡のそれぞれの暮らしを重ね、佐渡と東京の距離を超えたお付き合いを生み出す機会づくりに取り組んだ。そこで生まれた出会いとつながりを核に、東京と佐渡の人がともに地域づくりを共に行う「共創」フェーズへと展開することを本実証事業で取り組む。佐渡と東京のおつきあいを、小さな出会いから交流、共創へと「ゆっくと深度化すること」と、10人から102人、102人から103人へと「段階的に広げること」を目指す。 同時に、「関係性の深度化」と「取組の拡大」の過程を分析・把握し、佐渡の第2のふるさとの受け入れ側としてのポテンシャルと今後整備していくべき要素を洗い出す。本事業はこうした小さな出会いから生まれた関係性を交流、共創フェーズまで導くことにより、さらなる関係性の深度化と佐渡全体への広がりを通じた仕組み構築を目指す。</p> <p>【内容】 真野・西三川地区の尾畑酒造・学校蔵、海府地区が取り組む海府留学制度の取り組みをベースに、旅マエから旅ナカ、旅アトの一連の流れを、ネイバーフッドサロン(出会い)→トラベルサロン(現地交流)→ネイバフッドサロン(共創)を繰り返し展開し、事業を実施。実施を通じて「関係性の深度化」と「取組の拡大」を図る。出会いから交流をさらに共創フェーズまでに展開する、初来訪、再来訪を促す仕組みの構築を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 旅マエ(出会い)から旅ナカ(交流)への展開 佐渡との出会いを創るネイバーフッドサロンを主にZ世代向けに東京で開催。 旅ナカ・・・サロン(出会い)から交流を深めていく佐渡での交流を深めるトラベルサロンを実施。ネイバーフッドサロンで地域課題や地域への想いに触れた参加者が実際に佐渡を訪れ、真野・西三川地域や海府地区でのプログラムに参加し、地域の人と共に暮らしを体験する。 旅アトは、佐渡と東京の人による共同地域づくりプログラムを実施する。 地域滞在プログラム参加者による旅の報告会を実施する。また新商品やサービスの開発、地域産品販売のお手伝い、体験の発信活動に導く。佐渡の資源を活用した新たなもの・サービスの商品づくりへのお手伝い、佐渡の暮らしの営みを支えるお手伝いなどに、東京ネイバーズがただの観光旅行とは異なるお手伝い(インターン)という形での来島滞在の実証実験にも取り組む。 <p>【検証】 観光庁HPに、第2のふるさとプロジェクトについての記事掲載、女子のひとり旅ガイドブック「たびいじょ」掲載。 スローネイバフッドライングループの参加者数が183人で、3回のトラベルサロンの延べ参加者数が22人(65人)</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
⑳	<p>元気な地域づくり支援事業補助金 (新規:佐渡市補助金)</p> <p>担当:斎藤</p> <p>【予算額】 336,000円</p> <p>【実績額】 265,000円</p>	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤泊の海の資源の豊かさを船釣りを通して感じるとともに、豊かな海を守り続けていくことの苦労や大切さを学び、生きものが食べものになるまでを実際に見ることによって、いのちをいただくことのありがたさを感じる。 インフルエンサーである岡田大介氏が赤泊地区でツアーを行うことにより、関東圏の岡田氏のファンが佐渡に興味を持ち、新たな関係人口を築く 岡田氏に紐づく島外メディアがこのツアーを取り上げることにより、佐渡赤泊地区に関心を持っていただく 赤泊での体験を通じて、島外の魚好きの人に、赤泊の地域を知ってもらい、ファンになってもらう 船釣り、魚捌き、調理など、今後集落内で自立的、自発的にこのような体験を受け入れ、集客を行っていく第一歩とする <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日目:岡田氏による船釣り講座と懇親会 2日目:赤泊遊漁船協会の漁師さん・岡田氏と船釣り体験、お魚捌き体験、おすしづくり体験と試食 3日目:岡田氏と赤泊の海で生きもの探し <p>【検証】</p> <p>8月27日～29日の2泊3日で実施した。参加者は東京都から3組、埼玉県から1組、長野県から1組の合わせて5組10名の親子。子どもは小学1年生から中学3年生まで。子どもたちは講師の岡田氏の指導のもと、船で釣ったマダイ、キジハタなどを自分で捌いてお寿司にした。参加者からは、「普段できない体験ができたことが非常に満足」「漁師さんをはじめ、地元の方々も優しく佐渡を堪能した」といった声が聞かれ、参加者と赤泊地域での交流が深まり新たな関係人口を構築できた。また島内外メディアにより赤泊地域がフォーカスされるかたちで広報され注目度が高まった。</p>
㉑	<p>令和4年度地域独自の観光資源を活用した 地域の稼げる看板商品創出事業 「人と人、人と自然をつなぐ アドベンチャーツーリズム構築事業」 (新規:観光庁補助金)</p> <p>担当:小西</p> <p>【予算額】 7,700,000円</p> <p>【実績額】 7,700,000円</p>	<p>【目的】</p> <p>地域経済を支える観光の本格的な復興の実現に向けて、地域の関係者が連携して開発する自然、食、歴史・文化・芸術、生業、交通等の地域ならではの観光資源を活用した稼げる看板商品の創出を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>豊富な自然や歴史・文化を活用した長期滞在型ツアー商品を3プラン(雲上ロッジで星空と夜景を楽しむアウトドアディナーツアー、サイクリングガイドと行く トキ舞う佐渡の穀倉地帯をEバイクで走り抜ける歴史と酒蔵探訪の旅、初心者でも楽しめる！加茂湖でカヤックフィッシング)を造成し、モニターツアーなどを実施することで磨き上げをおこなった。また、商品ターゲットに合わせたwebサイトへの掲載、SNS、動画コンテンツなどによる販売プロモーションを実施。 ※500万まで定額 500万を超える部分は1/2、補助上限額1,000万</p> <p>【検証】</p> <p>トレッキング3件、Eバイク1件、カヤック1件の新規観光コンテンツの造成・販売開始</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種メディア(テレビ2件、WEB雑誌等3件)、特にインスタグラムでは206,082のリーチを獲得し、佐渡のアドベンチャーツーリズムの発信に貢献。また、次年度予約が6件。

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
	<p>地域一体となった観光地の再生 ・観光サービスの高付加価値化事業</p> <p>(新規:観光庁補助金) ※各宿泊事業者及び 観光施設事業者への直接補助</p> <p>担当:小西</p>	<p>【目的】 長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた観光地がポストコロナに向けた再生のため、観光地の顔となる宿泊施設を中心とした、地域一体となった面的な観光地再生・高付加価値化を支援。</p> <p>【内容】 ①中長期的な観光地の再生・高付加価値化プラン「地域計画」の作成 ②宿泊施設の高付加価値化支援 観光地の面的再生に資する宿泊施設の大規模改修支援(補助率1/2 ※例外2/3 補助上限1億円) 露店風呂の増設、水盤テラス設置、お土産スペース設置、外壁修繕などを実施 ③廃屋撤去 観光地の景観改善に資する廃屋撤去支援(補助率1/2 補助上限1億円) ④観光施設の改修 お土産物店や飲食店の改修支援(補助率1/2 補助上限500万円)</p> <p>【検証】 宿泊施設の高付加価値化支援13件 総事業費約10億円 廃屋撤去1件 総事業費約6千万円 観光施設の改修1件 総事業費約600万円 ※本総事業費約11億円</p>
	<p>無言語コミュニケーション研修 (新規:佐渡市負担金で実施)</p> <p>担当;齊藤</p> <p>【予算額】 386,440円</p> <p>【実績額】 376,172円</p>	<p>【目的】 今後世界遺産国内推薦によって訪れる観光客に関し、コミュニケーションが必要なお客様に対しての対応を学ぶ</p> <p>【内容】 無言語コミュニケーションワークショップ、気づきの収集、聴覚障害のある方への対応の応用を学ぶことにより、接客などの対応をする人のキャパシティを広げる研修を行った。</p> <p>【検証】 島内宿泊施設様、飲食店様、佐渡市、市議会議員様、機構職員など32名が参加。言葉をつかわず、表情やジェスチャーだけでコミュニケーションを図るワークショップや、ユニバーサルデザインについて研修を行った。今後世界遺産国内推薦により佐渡を訪れる聴覚障がいをもつお客様への対応だけでなく、インバウンド向けにも役立つ対応を学ぶことができた。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内 容
	TokyoStreetView海外向け動画撮影と発信 (新規:佐渡市負担金で実施)	<p>【目的】 ・今まで佐渡で作成された動画は複数あるが、我々がターゲットにしている国のお客様向けのコンテンツ動画がない。 ・機構が主にターゲットとしている国、アメリカ、フランス、台湾に響くようなプロモーション動画が必要。 ・プロモーション動画を作成し、ターゲット国へ情報発信し、佐渡のことを認知度を高め、来島を促進する。</p>
	担当:ナタリー	<p>【内容】 世界中の人がいつでも無料で見られる動画のライブラリー/アーカイブを制作しているTokyoStreetviewによる4Kと8K Ultra HDの撮影支援(宿泊代、東京-佐渡間交通費、レンタカー代及び体験料金)を実施。TokyoStreetviewをフォローしている人の年齢層は主に18~44歳なので、若い年齢層にも刺さるようなコンテンツを提供。国別で見ると、一番フォロワー数が多い外国はアメリカと台湾で、機構のターゲットにもなっている国。JNTOの公式YouTubeチャンネルにも取り上げられている。</p>
	<p>【予算額】 580,000円</p> <p>【実績額】 447,140円</p>	<p>【検証】 佐渡観光動画14本を制作し、TokyoStreetViewのYouTubeチャンネルで無料発信した。 生データの無料提供はクレジット表記を条件に可能。</p>
	わくわくSADO島ぐるりんスタンプラリー 広告掲載業務 (新規:佐渡市負担金で実施)	<p>【目的】 ファミリー層が多く佐渡を訪れる夏の時期に、佐渡島民、新潟県民に向けて佐渡の学びスポットの情報を発信することで、子どもたちの郷土愛の醸成と観光交流人口の増加を目指す</p>
	担当:栗山	<p>【内容】 新潟日報社と佐渡青年会議所が実施する「わくわくSADO島ぐるりんスタンプラリー」の台紙に、「佐渡は夏休みの自由研究にもってこい！」として、世界遺産登録を目指す佐渡金山やトキ、GIAHSに関する情報と、それを実際に体験できる着地型体験商品「エンジョイプラン」の紹介を掲載した。</p>
	<p>【予算額】 550,000円</p> <p>【実績額】 550,000円</p>	<p>【検証】 スタンプラリー応募者は2,210名、そのうち新潟県民は1,212名であった。広告掲載した佐渡金山には1,801名、トキの森公園には1,681名、岩首昇龍棚田には675名と多くの方が訪れた。佐渡島内の参加者の85%がスタンプラリーを通じて「佐渡に暮らしていることを誇りに思う」と回答しており、郷土について考える良い機会になったと思われる。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
	<p>さどぼん2022 純広告掲載業務 (新規:佐渡市負担金で実施)</p> <p>担当:栗山</p> <p>【予算額】 110,000円 【実績額】 110,000円</p>	<p>【目的】 まるごと1冊佐渡の魅力を紹介するガイドブック「さどぼん2022」に広告を掲載し、当機構で企画販売する着地型体験商品「エンジョイプラン」やレンタル電動自転車の認知拡大、販売促進を図る。</p> <p>【内容】 7/29発行の「さどぼん2022」巻頭見開き2ページに着地型体験商品「エンジョイプラン」6プラン、レンタル電動自転車「エコだっちゃん」の情報を掲載した。</p> <p>【検証】 エンジョイプランやレンタサイクルの認知拡大に寄与できた。今後はQRコードにパラメーターを埋めこんで、ガイドブックからのサイトへの流入を計測することが必須だと感じた。</p>
	<p>佐渡航路社会実験業務 (新規:長岡佐渡広域観光協議会受託)</p> <p>担当:ウイロビー</p> <p>【予算額】 19,270,500円 【実績額】 17,136,400円</p>	<p>【目的】 寺泊・赤泊間の航路を活用した魅力的な旅行商品が造成・販売され、多くの観光客が寺泊・長岡地域、佐渡地域を訪れることにより、両地域の振興を図るとともに、当該航路の観光航路としての可能性を探ることを目的とする。</p> <p>【内容】 赤泊コース(カニ御前、エビ御膳)、小木・宿根木コース、真野コースの3コース。高速船「きらら」をチャーターした特別プラン。3月18日(土)、3月19日(日)、3月21日(火・祝)の3日間の日帰りコースを設定し、各コース各日90名で募集。大型観光バスで佐渡島内の見どころを回る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 行程の作成とそれに伴う手配を行った。(チャーター船手配及び佐渡側受け入れ運営手配含む) 募集にあたる各種書面の発行を含めた受付業務及び募集を行った。(エンジョイプラン、長岡市LINE) 寺泊港にて受付業務と、その後の旅程管理を行った。 実施後の集計、アンケート実施、清算業務を行った。 <p>【検証】 「参加者」 3月18日 赤泊コース 21名(内子供2名)、小木・宿根木コース34名(内子供6名)、真野コース33名(内子供6名) 計88名 3月19日 赤泊コース 26名(内子供0名)、小木・宿根木コース31名(内子供5名)、真野コース27名(内子供7名) 計84名 3月21日 赤泊コース 26名(内子供1名)、小木・宿根木コース32名(内子供4名)、真野コース30名(内子供5名) 計88名</p> <p>販売開始から3日間で完売となったことから、佐渡への旅行に対する期待が大きかったとかがえる。また、実施後行ったアンケートからは、今ツアーに関して好意的な反応が多かったが、特定の事項に関して、改善の必要がある等、課題も見えてきた。「1泊2日でも参加したい」や今回よりも参加費がかかっても参加の可能性がある等、再来訪の意向も多かったため、受け入れ地域として改善できる点がどこなのか協議検討しながら、今後も引き続き交流・振興を図れるような企画の造成をしていきたい。</p>

令和4年度一般社団法人佐渡観光交流機構事業報告

No.	事業名	内容
	<p>外国人のメール問い合わせ対応 [info@visitsado.com]</p> <p>担当:ナタリー</p>	<p>【目的】 問い合わせ内容に応じた英語での情報提供・支援。</p> <p>【内容】 観光客のメール問い合わせ内容に応じて英語で返信すること。</p> <p>【検証】 今年度のメールでの問い合わせ数は全体で18件。そのうち13件が2023年1月～3月6日の期間であった。国籍別で見ると、フランスとシンガポールがそれぞれ3件で一番多い。メール問い合わせの場合は、国籍が分からないことが多く、18件中9件が国籍不明。</p>
	<p>海外向け情報発信 [Facebook, JNTO]</p> <p>担当:ナタリー</p>	<p>【目的】 海外に佐渡の良さを知っていただくこと。</p> <p>【内容】 海外の観光客に刺さりそうなコンテンツとイベント情報を投稿すること。</p> <p>【検証】 FB投稿数(2023年3月7日現在):100(その中いいね数、リーチとシェアが比較的が多い:20件) JNTO投稿数:21(その中 3件 掲載)</p>
	<p>JNTOへの来島外国人数登録</p> <p>担当:ナタリー</p>	<p>【目的】 JNTOに佐渡に来た外国人観光客数を毎月報告。</p> <p>【内容】 窓口にお問い合わせに来た外国人観光客の国籍と問い合わせ内容を記録し、毎月JNTOの会員ページで報告。 E-Mailでの問い合わせ、日本語の話せない外国人の対応。</p> <p>【検証】 今年度は3/6まで全部で138件の問い合わせがあった。窓口分は112件で、メールは19件。 問い合わせ件数について国籍別で見ると、一番多いのは中国で12件、その次はフランスと北米が10件、台湾が9件。国籍不明は15件。</p>